



3017



414
A 4167

別帛



破邪ノ事難シ如何トナレハ改贖上ニ論スル
時ハ萬國ノ教法ヲ議スル故ニ文際ニ關係
スルノ内顧アリ學問上ニ論スル時ハバイブル
ハ学科ノ一ニシテ洋學ノ必ス翫フ所ナリ
人心上ニ論スル時ハ未來ノ禍福ハ人情ノ
同ク憂ル所教法ニ非スンハ安心甘死ノ方
ナシ決シテ改權ヲ以テ後スヘカラス嗚呼

大正十一年四月
侯爵郵寄

破邪ノ事成ラズンハ

皇道何ヲ以テカ立ン

國賅何ヲ以テカ

維持セン臣案スルニ破邪ノ事難ニ似テ

難ニ非ス

廟議ノ如何ニアルノミ夫國家保護ノ

權ハ各國ノ同ク自有スル所ニシテ交際

學問教法皆此内ヨリ出ツ我レ吾制度

ヲ立吾法教ヲ宜以テ吾國家ヲ保護ス

外國アニコレヲ議スル丁ヲ得ンヤ猶我ノ

彼カ教法ヲ議スル丁ヲ得ナルカ如シ雖然

之ヲ防クノ議動モスレハ始アリ終ナク却テ

下民ノ疑惑ヲ生セシム嚮ニ長崎宗徒ヲ

移スヤ一時候トシテ祭シ其後自然ニ因

循シ氏子改ノ如キモ亦忽トシテ止ミ大ニ

前日ノ

廟議ト齟齬ス改ニ謂フ旧幕以來之ヲ

制スルニ四度ニ及フ而其勢益盛也コレ
勞シテ功ヲキノミニ非ス却テ外人ヲシテ
我ノ制度ヲ侮慢セシムルニ至ル令般ノ
拳第五度ニ屬ス必ヤ覆軼ヲ顧ミ外
人ノ笑具トナルヲカレ蓋シ 政府ハ
本ナリ地方官ハ末ナリ本立スンハ末豈
成シ今別紙ノ方法ヲ以テ仰願クハ
皇國万歳ノ憲律トシ以テ

神器ヲ盤石ノ安ニ置カハ臣等死トモ亦
瞑ス可キノミ昧死敬白

